

フレッシュ名曲コンサート

大井駿 × 山下愛陽 × 日本フィル

スペインの作曲家ロドリゴのギター協奏曲と、
生誕一六〇年を迎えるシベリウスの交響曲第2番を熱演！

新進気鋭の音楽家

大井 駿 (指揮)
Shun OI

© Great the Kabukicho

話題の新星ギタリスト

山下 愛陽 (ギター)
Kanahi YAMASHITA

© HIROMI HOSHIKO

日本フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)
Japan Philharmonic Orchestra

© 飯田耕治

2025年(令和7年)

10/5 日

15:00開演(14:15開場)

- ❖ ロッシーニ／歌劇『セヴィリアの理髪師』序曲
- ❖ ロドリゴ／アランフェス協奏曲 (ギター独奏：山下愛陽)
- ❖ シベリウス／交響曲第2番 二長調 Op.43

チケット料金 (全席指定) 全席でヒアリンググループをご利用いただけます！

S席 3,800円 A席 3,000円 B席 2,500円 車いす席 1,900円

練馬文化センター友の会 ねりぶんフレンズ会員 (2枚まで)

S席 3,420円 A席 2,700円 B席 2,250円 車いす席 1,710円

学生券 (25歳以下、要学生証提示、枚数限定)

※S～B席を一般料金の半額でお求めいただけます。 ※他の割引サービスと併用できません。

※詳しくはホームページまたはお問い合わせください。

一般発売

6月25日(水) 10:00～ 電話・WEB予約受付開始

先行販売申込期間
(抽選)

ねりぶんフレンズ優先: 6月1日(日)～6月13日(金)

練馬文化センターWEB: 6月17日(火)～6月20日(金)

練馬文化センター 大ホール

練馬文化センタープレイガイド

予約電話: 03-3948-9000 (10:00～17:00)

W E B: <https://www.neribun.or.jp/nerima.html> ※要利用登録【無料】

窓 口: 練馬文化センター・大泉学園ゆめりあホール (10:00～20:00)

※予約初日は座席をお選びいただけません。

※窓口販売は、6月26日(木) 10:00より行います。ただし、予約初日に予定枚数が終了した場合、取扱いはございません。

※車いす席、ヒアリンググループ受信機をご希望の方は、予約電話 (03-3948-9000) またはinfo-neri@neribun.or.jp までお申し込みください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※本公演は公演中止、延期以外での払い戻しは行いません。あらかじめご了承ください。

問合せ

練馬文化センター (公益財団法人練馬区文化振興協会)
電話 03-3993-3311 メール info-neri@neribun.or.jp

主催: 練馬文化センター (公益財団法人練馬区文化振興協会) / 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
企画協力: 東京オーケストラ事業協同組合



練馬文化センター
ホームページ

新進気鋭の指揮者と 今話題のギタリストが 日本フィルハーモニー 交響楽団と迫力の コラボレーション！

指揮 | 大井 駿

Shun OI

1993年東京都出身。幼少期を鳥取市で過ごす。

2022年、第1回ひろしま国際指揮者コンクール優勝ならびに細川賞受賞。

高校卒業後に渡欧し、バリ地方音楽院ピアノ科、ミュンヘン国立音楽演劇大学古楽科、ザルツブルク・モーツァルテウム大学ピアノ科・指揮科卒業、ならびに同大学指揮科・ピアノ科修士課程、パーゼル・スコラ・カントルム大学院フォルテピアノ科を修了。

これまで指揮者やソリストとして東京都交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、広島交響楽団、広島ウインドオーケストラ、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、マイニンゲン宮廷楽団、バリ警視庁吹奏楽団等と共演するほか、オーストリア国営放送ORF「Ö1 Talentbörse」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのメディアにも出演。音楽之友社Webマガジン「ONTOMO」にて連載をするなど、執筆活動も積極的に行っており、様々なフィールドを横断する稀有な若手音楽家として注目されている。



©Great the Kabukicho

ギター | 山下愛陽

Kanahi YAMASHITA

1997年長崎生まれ。ベルリン芸術大学ギター科学士および修士課程、声楽科を経て、さらにニュルンベルク音楽大学ギター科修士課程を修了、現在、同大学国家演奏家資格課程に在籍。幼少よりギタリストの父・山下和仁、作曲家の母・藤家溪子のもとで音楽を学び、2015年に渡独後はトマス・ミュラー＝ベリング、カルロ・ドメニコニ、そして現在ビョルン・コレルに師事。

7歳から「山下和仁ファミリークインテット」の一員として、また山下和仁とのデュオで国内および欧米・アジア各地で公演を重ねる。2007～08年に、2枚のCD『かさね』および『みんなのにわとりさん』の録音に参加した。13歳の時にトリノでソロ・デビュー。2015年よりベルリンを拠点に世界各地でソリストとして、また室内楽の分野でも精力的な活動を展開している。これまでにヨーロッパのみならず、トルコ、メキシコ、アメリカなど各地の音楽祭に招待されており、2018年にはベルリン・コンツェルトハウスの大ホールでも演奏。2021年にはドメニコニの作品を録音した『Selected Works VIII - Guitar solo: Kanahi Yamashita』もリリースされた。第66回ARDミュンヘン国際音楽コンクール（2017）、セミ・ファイナリスト。2019年ドイツ・ギター賞受賞、2021年イザローン国際ギター・コンクール第2位ほか、国際コンクールでの受賞多数。2016～19年にヤマハ音楽振興会奨学生、2020～22年までロームミュージックファンデーション奨学生。また、2021年からD'Addarioアーティストにも選ばれている。



©Christoph Sauer

管弦楽 | 日本フィルハーモニー交響楽団

Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。

2023年9月よりカーチュン・ウォンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りは非常に注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一という指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行っている。

2026年の70周年に向け、芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。特に、日本フィルが2011年以来東日本大震災の被災地における活動「被災地に音楽を」を継続し、さらにそれが「若い世代への未来への希望を育んでいる」ことに対し、第16回後藤新平賞が授与された。

【オフィシャル・ウェブサイト】<https://japanphil.or.jp/> / [X (Twitter)] @Japanphil / [Instagram] @japanphil.official



©飯田耕治

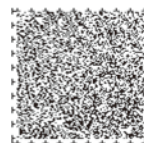


練馬文化センター
NERIMA CULTURE CENTER

〒176-0001 東京都練馬区練馬1-17-37

アクセス

西武池袋線、西武有楽町線、都営地下鉄大江戸線
「練馬駅」中央北口より徒歩1分



音声コード